

①国際香水化粧品工場

Musée International de la Parfumerie



見学できますよ。

Grasse グラス市

フランスで香水産業が最も発達したのがカンヌ湾を臨むグラス市。コート・ダジュールの地中海性温暖気候に恵まれているため、香水の原料となる植物の栽培に最適。グラスは、古くから薔薇やラベンダー、ジャスミンなど様々な花が咲き乱れ、天然香料の産地でした。この恵まれた天然資源を利用し、水やアルコールなどの添加物質を使った優れた抽出技術が発達し、グラスは世界的に香水の一大産地となりました。

調香師になるにはグラスかパリ近郊にある調香師養成学校で10年以上の勉強と訓練を積みねばならず、更にプロになるにはどんな微妙な香りの違いも嗅ぎ分けられる天性の才能を持たなければなりません。(調香の才能は後天的には育たないと言われています。)天然香料から抽出された何本もの「パフュームのパイプオルガン」ともいわれる管に入ったそれぞれのエッセンシャルオイルをかぎ分け、訓練を重ねて次世代の調香師は生まれるのです。

フランスの香水文化はグラスが育てた調香師が支えているといっても過言ではありません。近年、グラスにおける香用植物の栽培はだいぶ小規模なものとなりましたが、天然香料の優れた抽出技術を誇る企業の多くがこの地に残り、また調香師を輩出するため市をあげてパフューマーの養成教育に注力しています。

